



繭コサージュ ～拝啓 二十の君へ～ (5年生)

ESD「まゆ物語」未来に届けプロジェクト 女池小学校



蚕たちが一生懸命に紡いだ絹糸は、きれいな繭コサージュになりました！

卒業する6年生に、ありがとうの気持ちを込めて送ります！

そして、6年生には、二十歳の自分に思いを繋いでほしいです！

女池小のESD



女池小学校はつながりとかかわりを大切にしてESDを推進します！

① 5年生の環境教育

二十歳になったら、またこのビオトープに来てみたいなあ…



女池小には学校田があります。毎年地域の米づくりの先生をお迎えして指導をして頂き、田植え～稲刈りまでを自分たちで行いました。



4月、環境教育はビオトープの保全活動からスタートします。今年度は、井上信夫先生(生物多様性保全ネットワーク新潟事務局), 佐久間昌孝先生(ビュー福島潟自然指導員)のお二人を講師に迎え、生き物同士のつながりを学習しました。



この自然を未来に残したい！

6月、胎内で一泊二日の自然体験教室を行いました。福島潟や太田小ビオトープの見学も行いました。



② 蚕との出会い



毎年地域にお住まいの近藤文男さんが、蚕を寄贈していただきます。

5年生の子どもたちは当番表を作り、餌やりや飼育箱の掃除など、一生懸命にお世話をしました。

③ 蚕のお世話



④ 繭コサージュ作り

近藤さんと地域ボランティアさんの協力により繭コサージュを作りました。



蚕のえさとなる桑の木を、今年あらたに6本植樹しました。



子どもの声

5年生 Tさん
蚕のお世話は、くわの葉っぱをていねいに一枚一枚ふいてあげるなど、とても大変でした。その後、えさの量がどんどん増えて、蚕の体も大きくなり、やがて繭ができたときには感動しました。

6年生 Iさん
私は、卒業生に繭のコサージュを作りました。200頭以上の繭を、放課後や休み時間を使って、完成に近づけていきました。喜んでくれると願って、一生懸命に作りました。

28年度卒業生 Yさん
コサージュ作りはとても大変でしたが、6年生に喜んでもらえて、嬉しさと達成感がありました。そして、自分がもらったときは、そのすばらしい出来栄に感動しました。

27年度卒業生 Oさん
蚕はデリケートなので、扱うときには、常に「優しくする」ことを心がけました。卒業式のコサージュは、切り取った繭で花びらを作るので、表面に独特な模様ができ、とても綺麗でした。

26年度卒業生 Kさん
私達は卒業する時、5年生が蚕から育てて繭にして作ったコサージュを贈呈されました。白い繭をオレンジに染めて、とてもかわいらしいコサージュでした。今でも大切にしています。



コサージュの色は毎年変わります！

卒業式では6年生に繭コサージュを渡し、それを胸に卒業します。

⑦ 卒業式



来年は横浜シルク博物館で絹織物の流通を探究します！

⑧ 今度は自分たちが5年生から繭コサージュをつけてもらう